

腰椎椎間板ヘルニア

どんな病気か

腰椎は5個の椎骨からなり、上半身を支える脊柱のなかでも最も大きな荷重を受けもちます。同時に可動性も大きいため、椎間板の障害を起こしやすい部位です。椎間板ヘルニアは椎間板・線維輪に亀裂が入って、内部の髄核が脱出して神経を圧迫した状態です。

通常、激しい腰痛と片側の下肢痛・しびれ感を引き起こします。疼痛やしびれ感の部位は、圧迫される神経によって異なります。神経症状の強い場合は障害神経の支配筋に運動麻痺を生じます。神経根の圧迫による完全な運動麻痺の回復は困難であり注意を要します



整形外科 石倉 哲仁

症状の現れ方

多くの場合、初期には腰痛が出現し、その後片側の足の痛みやしびれが加わってきます。重量物の挙上などで急に腰痛が出現する場合と、徐々に起きる腰痛の場合があります。

腰痛に続いて大腿から下腿や足部にかけて電気の走るような痛みやしびれが加わってくることが多く、ほとんどは片側性です。

筋力低下がゆっくり起きる場合は、腰や足の痛みが軽くなってから膝折れやスリッパが脱げるなどの症状で気づくこともあるので注意を要します。さらに、排尿・排便の感覚がわからなくなったりする場合は、緊急に対処する必要があります。

検査と診断

診察所見と画像所見が一致して初めて診断がつきます。画像検査ではX線検査のみではヘルニアの診断は不可能です。MRIが最も有用な検査となりますが、MRIで椎間板ヘルニアを認めても症状がない場合は治療の対象になりません。

治療の方法

進行性の麻痺症状がある場合を除き、保存療法を行います。まずはベッド上安静、薬物療法としては、消炎鎮痛薬や筋緊張弛緩薬などが疼痛軽減に有効です。さらに疼痛が激しい場合は、ブロック療法があります。多くは3カ月以内の保存療法で軽快します。

運動麻痺が進行する場合や排尿・排便障害が出現した場合、また保存療法で疼痛が軽快しない場合などは手術療法が選択されますが、手術に至るのは10~30%程度です。また問題点として再発することもあるということです。

腰の痛みで悩まされている方は、是非一度当院整形外科にお越しください。

退院支援 ～その人らしい生活を送れるように～

日本では現在も少子高齢化が進んでおり、地域では高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦の世帯が多くなってきています。世帯主が65歳以上となる高齢者世帯数は、平成17年には1340万世帯程度であったが平成37年には1840万世帯程度まで増加することが見込まれており、中でも高齢者の一人暮らし世帯の増加は著しく約680万世帯程度にまで達すると見込まれています。

一般的な病院の入院患者様は高齢者の方が大半を占めており、入院前は一人暮らしであったり夫婦で生活していたり自立していたが、入院生活を通してそういったことが出来なくなってしまうことがあります。当院では退院後に自宅で必要な治療(インスリン注射等)についての指導、また患者様本人やご家族様だけでは不安といった場合は訪問看護の利用相談など、安心して生活が出来るように退院支援を行っております。入院された日より患者様の退院後の不安などを聴取し、退院後その人らしい生活を送ることができるよう、日々の看護に取り組んでおります。



看護部 井出

認知症サポート講座の開催

9月28日(水)、高齢者の相談窓口である川口市戸塚地域包括支援センターや、ASA東川口などが共同で開催した認知症サポート講座の中で、お話をする機会を頂きました。講座内では認知症の方との関わり方や認知症進行予防の体操コグニサイズをさせて頂きました。今回はいつもより難しいコグニサイズを行ったのですが、難しすぎて最後まで成功出来ないというハプニングがありました。しかし、それが笑いにつながり結果的には楽しんで頂けたと思います。今後も地域の方の笑顔を増やせるように活動して行きたいと思います。

リハビリテーション科 齋藤 剛史



第12回公開講座「骨粗鬆症」

9月10日(土)に12回目となる公開講座を開催しました。今回のテーマは“骨粗鬆症”。まず院長の田辺から、「骨粗鬆症を克服して元気に過ごしましょう」と題して、カルシウムを多く含む食べ物を紹介し、1日800g摂取するようご教授させていただきました。次に理学療法士の齋藤・熊木より「骨粗鬆症に負けない身体づくり」と題して具体的にどのような体操をすれば効果的なのか説明させていただきました。カルシウム摂取量を参考にしながら今後の食事、運動等、生活に役立てていきたいとの声も多くいただき、約250名のご参加をいただきました。

次回は11月19日(土)14:00より、戸塚公民館にて第4回ふれあい健康フォーラムを予定しております。川口市長寿支援課地域ケア係の蓮沼様より地域包括ケアシステムについて、辻川ホームクリニック院長の辻川先生より在宅医療について、当院内科医師の陳よりインフルエンザについてお話させていただきます。お気軽にご参加ください。

医療相談室 中田



インフルエンザ予防接種に関して

例年11月下旬～4月頃にかけて、インフルエンザの流行が始まります。インフルエンザに感染すること、また、感染した場合に重症化する危険性を軽減するために、ワクチンの予防接種が重要となります。一般的に、ワクチンは摂取してから免疫ができるまで2週間程度かかるとされており、早めに予防接種を済ませておくことが必要です。

当院では10月6日(木)より、インフルエンザの予防接種を開始しております。

15歳以上の方は通常診療時間内に外来受診していただけます。13歳未満の方については要予約となります(詳細については外来総合受付までお問い合わせ下さい)。

また、11月5日(土)から12月3日(土)までの毎週金・土曜日に、13歳以上の方を対象とした「予防接種外来」を実施いたします(中学生の方は、この「予防接種外来」でのみ予防接種を行いますのでご注意ください)。受付時間(金:10:00～17:00、土:9:10～10:30)と注射実施時間(金:16:30～17:15、土:10:00～11:00)を分けておりますので、通常外来で行うよりも院内での待ち時間が少なくご利用いただけます。

予防接種を検討されている方は、受付スタッフまでお気軽にご相談下さい。

医事課 鈴木



東川口病院理念



皆さんに愛し愛される病院となること

理念の実行方法

- 1.適切な医療を実践、提供し、患者様の健康のサポーターになります。
- 2.近隣医療機関と連携を密にとります。
- 3.働き甲斐のある職場を皆でつくります。
- 4.人材の育成の機会をつくり、活気のある病院になります。
- 5.健全経営を維持し、継続して良質な医療を提供できるようにします。



東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前(8:00~12:30) 午後(13:00~17:15) 平成28年11月01日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○
神経内科	午前				○		
肥満外来(予約制)	14:00~17:00					○	
もの忘れ外来	14:00~17:15			○			
循環器科	午前	○	(予約制) ○	11:30受付終了 ○	○		
	午後		(予約制) ○		○	14:30から診察 ○	
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症外来(予約制)	15:00~16:30					○	
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	9:30から診察 ○
	午後		○	○		○	
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後			○			
皮膚科	午前		○		○		
	午後	○		○	○	○	
泌尿器科	午前				○		
	午後				○		
小児科	午前	○	○	○		○	○
	午後	○			第4週 15:00から診察 ○		
	予防接種(予約制)		14:00~17:15 予防接種	14:00~17:15 予防接種		14:00~17:15 予防接種	
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	

☆救急対応、緊急手術等でもやむを得ず診察時間の変更となる場合がございます。
 ☆お電話での診察予約、お薬のご依頼はお受けしておりません。
 ☆各診療科の担当医師については病院ホームページを閲覧していただくか、総合案内までお問い合わせください。
 ☆その他ご不明な点等につきましては総合案内までお問い合わせください。

地域活動委員会から一言

夏の暑さもやわらぎ、季節は段々と秋の様相を呈してきました。秋は『スポーツの』『食欲の』『読書の』『芸術の』等様々な言葉が冠される大変賑やかな季節であり、果物狩りや紅葉狩り、お祭りに運動会など外で行うイベントがたくさんありますね。同時に朝晩の気温差は大きくなり、空気が乾燥し始め体調を崩しやすい時期でもあります。
 インフルエンザの予防接種や手洗い、うがいの励行など体調管理には気を付けて秋を楽しみましょう。

地域活動委員会 後藤



上尾中央医科グループ
 医療法人社団協友会 東川口病院

内科・神経内科・消化器内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・小児科
 皮膚科・耳鼻咽喉科・循環器科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科

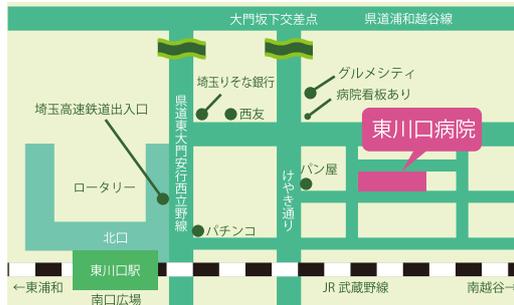
携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!
 当院Facebookもあります!是非ご利用ください。

〒333-0801
 埼玉県川口市東川口2-10-8
 TEL:048-295-1000
 FAX:048-295-5501
<http://www.e-kawaguchi-hp.jp>



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・埼玉高速鉄道(南北線直通)東川口駅下車 徒歩5分



退院支援 ～その人らしい生活を送れるように～

日本では現在も少子高齢化が進んでおり、地域では高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦の世帯が多くなってきています。世帯主が65歳以上となる高齢者世帯数は、平成17年には1340万世帯程度であったが平成37年には1840万世帯程度まで増加することが見込まれており、中でも高齢者の一人暮らし世帯の増加は著しく約680万世帯程度にまで達すると見込まれています。

一般的な病院の入院患者様は高齢者の方が大半を占めており、入院前は一人暮らしであったり夫婦で生活していたり自立していたが、入院生活を通してそういったことが出来なくなってしまうことがあります。当院では退院後に自宅で必要な治療(インスリン注射等)についての指導、また患者様本人やご家族様だけでは不安といった場合は訪問看護の利用相談など、安心して生活が出来るように退院支援を行っております。入院された日より患者様の退院後の不安などを聴取し、退院後その人らしい生活を送ることが出来るように、日々の看護に取り組んでおります。

看護部 井出



認知症サポート講座の開催

9月28日(水)、高齢者の相談窓口である川口市戸塚地域包括支援センターや、ASA東川口などが共同で開催した認知症サポート講座の中で、お話をする機会を頂きました。講座内では認知症の方との関わり方や認知症進行予防の体操コグニサイズをさせて頂きました。今回はいつもより難しいコグニサイズを行ったのですが、難しすぎて最後まで成功出来ないというハプニングがありました。しかし、それが笑いにつながり結果的には楽しんで頂けたと思います。今後も地域の方の笑顔を増やせるように活動して行きたいと思っております。

リハビリテーション科 齋藤 剛史



第12回公開講座「骨粗鬆症」

9月10日(土)に12回目となる公開講座を開催しました。今回のテーマは“骨粗鬆症”。まず院長の田辺から、「骨粗鬆症を克服して元気に過ごしましょう」と題して、カルシウムを多く含む食べ物を紹介し、1日800g摂取するようご教授させていただきました。次に理学療法士の齋藤・熊木より「骨粗鬆症に負けない身体づくり」と題して具体的にどのような体操をすれば効果的なのか説明させていただきました。カルシウム摂取量を参考にしながら今後の食事、運動等、生活に役立てていきたいとの声も多くいただき、約250名のご参加をいただきました。

次回は11月19日(土)14:00より、戸塚公民館にて第4回ふれあい健康フォーラムを予定しております。川口市長寿支援課地域ケア係の蓮沼様より地域包括ケアシステムについて、辻川ホームクリニック院長の辻川先生より在宅医療について、当院内科医師の陳よりインフルエンザについてお話させていただきます。お気軽にご参加ください。

医療相談室 中田



インフルエンザ予防接種に関して

例年11月下旬～4月頃にかけて、インフルエンザの流行が始まります。インフルエンザに感染すること、また、感染した場合に重症化する危険性を軽減するために、ワクチンの予防接種が重要となります。一般的に、ワクチンは摂取してから免疫ができるまで2週間程度かかるとされており、早めに予防接種を済ませておくことが必要です。

当院では10月6日(木)より、インフルエンザの予防接種を開始しております。

15歳以上の方は通常診療時間内に外来受診していただけます。13歳未満の方については要予約となります(詳細については外来総合受付までお問い合わせ下さい)。

また、11月5日(土)から12月3日(土)までの毎週金・土曜日に、13歳以上の方を対象とした「予防接種外来」を実施いたします(中学生の方は、この「予防接種外来」でのみ予防接種を行いますのでご注意ください)。受付時間(金:10:00～17:00、土:9:10～10:30)と注射実施時間(金:16:30～17:15、土:10:00～11:00)を分けておりますので、通常外来で行うよりも院内での待ち時間が少なくご利用いただけます。

予防接種を検討されている方は、受付スタッフまでお気軽にご相談下さい。

医事課 鈴木